

みくりや (御厨) 第2号

国立駿河療養所広報誌



駿河神社祭当日、入所者が楽しみにしている職員による御輿の練り歩き。

国立駿河療養所の理念

- 一 入所者の皆さまの人格を尊重します
- 一 安全で快適な生活ができるようつとめます
- 一 安心して受けることのできる医療を提供するようつとめます
- 一 ハンセン病の正しい知識をひろめ地域との交流をめざします

目次

副所長あいさつ	2
国立駿河療養所の将来を思う (所長)	2
病棟紹介	3
薬剤科紹介	4
栄養班だより (栄養かわらばん)	5
医療安全管理室だより、卓球部の紹介	6
施設見学の状況	7
駿河療養所の納涼祭	8
駿河神社祭、入所者の活動	9
写真展	10
委託すまいる通信	11
駿河神社、アクセスマップ、職員募集、発行責任者	12

ホームページアドレス：<http://www.hosp.go.jp/~suruga2/>

世界遺産富士山、そして駿河療養所

副所長 福島 一雄

平成23年10月、菊池恵楓園から駿河療養所に赴任して、早2年となります。生まれ育った熊本と比べて、箱根外輪山中腹にある駿河療養所は夏涼しく、冬は雪こそ少ないものの寒いという違いがあります。前任の菊池恵楓園と同じ国立ハンセン病療養所で、太平洋戦争末期、国内最後に建設されたハンセン病施設です。前任施設と医療内容に違いはありませんが、常勤医は3名であり、専門の呼吸器内科以外の様々な診療に対応しなければならない点が大きな違いでした。



赴任した駿河療養所の最大の目玉は何かと問われれば、私は荘厳で雄大な富士山と答えたいと思います。今年6月、富士山は世界文化遺産に登録され、今夏は多くのマスコミにも取り上げられました。富士山観光で富士山周辺は例年以上に賑わったようです。学生時代、山岳部員で北アルプスや南アルプスの3000m級の山々を縦走した私にとって、日本最高峰の山を毎日望む環境で働くことができるのは格別です。官舎の窓から見える富士の高峰にむかって、手を合わせるのが私の朝の日課です。

さて、国内の他の療養所と同様に、駿河療養所も入所者の皆様の高齢化が進んでいます。医療面で自分の役割を最大限果たすことは当然のことながら、医療面以外でも役立つことはないかと考え、20年来続けている気功養生法の一部を応用した簡単な気功体操を週1回、入院の方々を中心に行っています。長い間、辛苦に耐えてきたハンセン病施設入所者の方々が、元気で長生きできるように、力を尽くしていきたいと思っています。

国立駿河療養所の将来を想う

所長 青山 南圭

当療養所は、昭和20年6月傷痍軍人駿河療養所として開設され、翌年からは一般の方々も入所できる国立駿河療養所となりました。入所者数は、昭和31年の471名をピークに現在69名まで減少しています。開設から68年、「らい予防法」の廃止から17年、高齢重複障害者施設として医療、療養、癒しと生活の場を担っています。しかし、入所者の高齢化が進むなか、療養所の敷地と自然環境、施設を単に縮小するのではなく将来有益に活用するための構想が必要となっています。そこで、国立駿河療養所将来構想検討委員会が設立されました。

同委員会は、平成20年入所者自治会の要請により御殿場市が設立しました。当所の将来構想は、短期(3~5年)と中期・長期構想(5年、10年~)に分けられます。短期構想は、現在入所されている方々が安心して療養生活を行うための支援、中期・長期構想は施設・敷地・自然環境、病院機能を将来どのように地域社会に還元してゆくかを計画するものです。地域貢献の基本コンセプトは、1. 病院として、2. 人権啓発、研修施設として、3. 福祉施設として、4. 交流の場として、そして5. 療養所の地域開放、共生が図られることです。駿河療養所は、その機能を縮小するのではなく高齢者医療と介護に精通している病院として地域社会に貢献することにより、入所者の皆さんへも現在の医療サービスを継続して提供することが可能となります。

当療養所の将来構想である地域社会への同化・共生と貢献には、地域の皆さんからの声、市・県・国会代表者の皆さんのご協力を得て可能となります。

私たち職員一同は、情報の発信と地域社会との交流を通して開放された療養所と共生をめざすとともに療養所の将来を信じ日々努力してゆきます。(了)

職場紹介 (病棟)

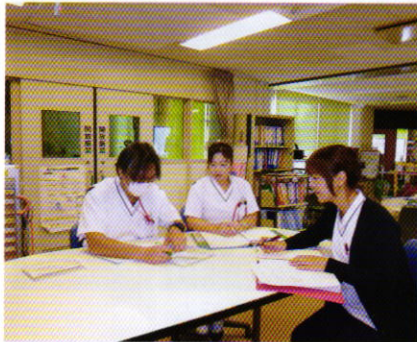
看護師 織田 裕子

病棟は一般病院と同様に急性・慢性疾患、生活習慣病、ハンセン病後遺症の増悪、骨折など様々な疾患に対し入院を必要とする患者を治療する施設です。ときにはハンセン病後遺症である四肢の運動機能障害、末梢神経障害（知覚麻痺）により二次的に発症する熱傷、外傷、皮膚穿孔症の治療や、脳血管障害などの後遺症にて居住区での生活が困難な方も受け入れています。様々な疾患で苦悩されている方々が、人として威厳を持って療養生活を送り、居住区に早く帰ることができるよう看護師 17 名、介護員 3 名でケアに努めています。

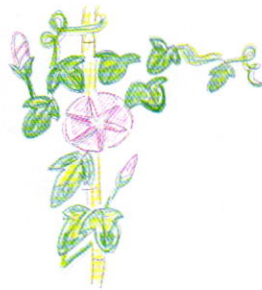
多磨全生園リハビリ科医師の往診が月に 1 回あり、理学療法士や言語聴覚士、歯科衛生士と連携しながら、麻痺・拘縮や肺炎からの機能回復・維持訓練に積極的に取り組んでいます。

その一方、疾患や年齢的に終末期ケアの重要性が年々高まっています。最期まで尊厳を持って生活され、充足して時を迎えられるよう支えることがケアの原点と考え、日々の看護・介護を実践しています。入所者個々の生活スタイルを尊重するため個室への入室を原則としています。そのため、他者との交流が少なくなるという弊害もありますが、所内行事への参加や定期的にお茶会を催し交流・親睦の機会を設けるとともに、孤独を感じないよう配慮し、一緒に過ごす時間や会話を大切にしています。

転倒や褥瘡発生などのリスクが高い高齢者が多いところ、看護師長を中心に一致団結し、よいチームワークで頑張っています。



スタッフステーション



納涼祭



たんぼぼ喫茶



病室から富士山を望む



プレイルーム

職場紹介 薬剤科

薬剤科長 平松 匡邦

当療養所薬剤科は、現在薬剤師 2 名と調剤助手 1 名の計 3 名で構成されており、入所者及び来所者の皆様に安心できる良質な医療を提供するため「医薬品の適正な管理・供給、医薬品情報の提供」を目的に日々の業務に励んでおります。

採用している医薬品数はおおよそ内用薬 290 品目、外用薬 180 品目、注射薬 150 品目と規模が同じ位の一般病院と比較すると少し多めでしょうか。必要となる医薬品も変化していきますので、使用状況をみながら在庫管理に目を光らせています。

主たる業務は内服薬・外用薬の調剤になります。各部署の端末からオンラインで処方を入力できるようになっており、薬剤科で処方せんの発行ができます。処方内容を確認し、薬袋、医薬品の説明用紙を用意し、調剤を行うという流れなのですが、調剤方法（お薬の用意の仕方）には様々な方法があります。錠剤ですとヒートシール調剤、一包化調剤、粉碎化調剤などなど。どの処方でも個別に患者様や看護・介護スタッフの要望に合わせて調剤を行い、少しでも患者中心の医療に沿った薬物療法に寄与したいと考えております。

安全で快適な生活基盤の一部になれますよう、スタッフ一同、日々精進して参りますので、今後とも宜しく願いいたします。



散剤分包機



オーダーリングシステム



錠剤分包機



錠剤調剤

栄養班では、毎月1回「栄養かわらばん」の発行を行っています。2009年の9月から発行を開始し、現在5年目に入りました。入所者の皆様楽しんでいただける様に提供している食事も工夫を重ねながら、より食事への楽しみや食に関する知識を深めていただきたいと思います、今日まで発行を続けています。

この「栄養かわらばん」では、献立に関することや栄養に関する情報、行事食にまつわる豆知識、所内実施の嗜好調査の結果などを掲載しています。毎月配布している献立ではお伝えしきれない料理に関する情報や旬の食材の話題などを掲載し、入所者の皆様に新しい献立がどのような料理なのか、食材は何を使用しているのかをお伝えしています。例えば、7月の情報は「土用の丑の日」や「てんぷらの日」を紹介しました。8月にある「はちみつの日」や「バナナの日」など語呂合わせから制定された日も紹介し、献立に取り入れています。9月にあったキウイの日には、食の記念日にちなんだ献立「冷しゃぶのフルーツソース」といった一風変わった献立も取り入れています。これからも新しい料理や知識はもちろんのこと、味も栄養価もより良くした献立を皆様にお届けできるよう、日々食材や献立に関する情報を集めています。

栄養班の取り組みである「調理師おすすめメニュー」や「ご当地献立」もこの栄養かわらばんで紹介しています。これらの取り組みについては、またの機会にご紹介いたします。

岐阜県のご当地メニュー



朴葉味噌と栗きんとん

静岡県のご当地メニュー



うな重とうなぎパイ

毎月発行の「栄養かわらばん」

<p>栄養かわらばん 2013年 9月号</p>	<p>栄養かわらばん 2013年 10月号</p>
<p>まだまだ残暑厳しい日が続きますね。まだ、朝晩が少し肌寒くなる日も出てきます。食一物はこれからは旬のものが増えてきます。食一帯には注意しつ、旬の食材を楽しみましょう。</p> <p>今月のこだわりメニュー 冷しゃぶのフルーツソース(9月1日) 酸味の効いたキウイフルーツをポーチに合わせ、さっぱりとしたフルーツソースに仕上げました。いつもと違ううつけだれをお楽しみください。</p> <p>秋のくるみ衣揚げ(9月30日) いつもはパン粉の衣をくるみに変えてフライにしました。食べやすいように小さく砕き、香りがたつように仕上げました。くるみの触感をお楽しみください。</p>	<p>例年になく暑さもよやくおさまり、涼しくしやすい季節がやってきました。朝晩の冷えは、まだおそろから来る冬を感させるようにもなりました。暑さや冬の時期は、多い時期でもあります。季節の味を楽しみながら、食一帯には注意しつましょう！</p> <p>10月より、延慶のパンに選択致が増えます 従来の産直のパンは、天然酵母パンとパンツバツバのみでしたが、この度月替わりのメニューが増える事になりました。 日替わりメニューには、これまで使っていた野菜パンと菓子パンの組み合わせになります。飲み物も、ペットボトルのお茶に加え、200mlの紙パック牛乳も付くようになります。詳細につきましては、延食申し込みに担当者もしくは栄養士までお問い合わせください。</p> <p>今月のこだわりメニュー いわしの明太子焼き(4日) いわし明太子という種類の名産品をアレンジして献立に取り入れました。 じゃこ天うどんと一六タルト(26日) 愛媛県のご当地メニュー、じゃこ天うどんにあら、一六タルトを付けました。 日本食の味を味わおう！ 26日 胃腸の日</p>
<p>今日は何の日? 今日は食の記念日をご紹介します。「食の秋」とは10月の、まだまだ残暑続く日が続きます。記念日にまつわる献立も少し変わった調理方法になっています。賢者も楽しめるかもしれません。いつもと違ううつけだれをお楽しみください。</p>	<p>今日は何の日? 今日は食の記念日をご紹介します。食の記念日は語呂合わせによってきているものが多く、今回の記念日はどれも語呂合わせになっています。</p>
<p>28日:パン献立 今回ご利用したパンは、『ロールパン』『ホワイトブレッド』『胚芽ロール』の3種類になります。</p> <p>調理師おすすめメニュー お薦め献立 ジャガイモの洋風お好み焼き</p> <p>今月の担当 林 調理師 開催日:18日</p> <p>今回のおすすめメニューは、じゃがいもの洋風お好み焼きです。ガレットというフランスのそば粉を使った料理で、じゃがいもにアレンジしました。お好み焼きは使わず、すりおろしたじゃがいもで形成します。具材の千切りじゃがいもとの異なる触感をお楽しみください。</p> <p>9月1日 キウイの日 「キウイ=9」「イ=1」の語呂合わせから、キウイの輸入会社が制定しました。レモンに匹敵する量のビタミンCを含有し、抵抗力やストレス解消などに優れた働きを発揮する果物です。</p> <p>9月15日 ひじきの日 ミネラルや食物繊維が豊富で、特にカルシウムと鉄の含有量は海軍一。骨の成長・強化に働き、骨粗鬆症の予防や治療などに有効な食品です。</p> <p>9月30日 くるみの日 くるみは丸い(く=9)み=3)まるい(=0)の語呂合わせから、長野県のくるみ愛好家が制定しました。この頃にはくるみの出回る時期でもあり、老化防止や健脳効果が高いと言われています。</p>	<p>今月の延食月替わりメニュー カレーパン アップルパイ (アップルデニッシュパン)の2種類になります。</p> <p>31日:かぼちゃケーキ 久しぶりに行きますパティシエSonugaは、ハロウィンにあわせ「かぼちゃケーキ」をご用意いたします。南瓜の甘味を生かした通常のスポンジケーキとは異なる濃厚なケーキです。どうぞお楽しみください。</p> <p>調理師おすすめメニュー お薦め献立 秋の栗りカレー</p> <p>今月の担当 林 調理師より 開催日:24日</p> <p>10月2日 豆腐の日 「とう=10」「ふ=2」の語呂合わせから日本豆腐協会によって制定されました。同様の語呂合わせから、毎月12日も豆腐の日になっているそうです。</p> <p>10月4日 イワシの日 「い=1」「わ=0」「し=4」の語呂合わせから、大阪おさか健康食品協議会が制定しました。骨ごと食べられ、カルシウム摂取に効果的な食品です。</p> <p>10月13日 さつまいもの日 10月は旬の時期ですが、量は栗(九里)より多くなる里芋と書かれたりもしますが、「栗(九里)より(四里)うまい」ということから、「栗(九里)より(四里)うまい十三里」書かれたりもしています。その数字を用いて、制定されたそうです。</p>

「多磨全生園との医療安全交流会」

医療安全対策室 三瓶 千里

平成25年7月11日多磨全生園の皆様をお迎えして、『平成25年度医療安全相互チェック』を開催しました。この交流会は、医療安全・感染管理を中心に検討を行うことで、両療養所の医療・看護・介護の向上の機会につなげたいと考え開催されました。多磨全生園副園長、看護部長、医療安全管理係長はじめ他8名、駿河療養所は、所長、副所長、総看護師長、他9名でランチミーティングのあと合同検討会、所内見学が行われました。合同検討会は、両療養所の1)平成24年度のヒヤリハットのまとめ、2)ヒヤリハット事例個別検討、3)駿河療養所におけるMRSAの対応報告を行いました。



その後に行われた関連部署ごとに分かれての所内見学は、現場担当者レベル間で交流を深める機会となりました。

多施設との相互交流は初めての試みで、医療安全、感染防止への取り組みについて意見交換をしたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。高齢で不自由度が増す入所者に安全な医療、安心できる療養環境を提供していくためには何が必要であるかを再認識することができました。この交流に参加して得た知識を駿河療養所における医療安全・感染対策活動で生かしていきたいと思います。次回は11月末に多磨全生園で予定されています。有意義なものにしたいと思います。

卓球部の紹介

庶務係長 植木 直美

駿河療養所には卓球部が存在します。現在部員13名。幹部から事務職員、技術職員、看護師と幅広い年齢、職種の部員が、主に昼の休憩時間に活動しています。

歴史は古く、創部は平成9年に遡ります。初めは数名が細々と練習していたのですが、少しずつ部員も増え、やがて外部との交流試合も行い、無謀にも市の大会等にも参加しました。この怖い者知らずの所業はなかなかの好成績を収めることがあり練習の励みにもなりました。昨今は対外試合を控え、専ら「駿河カップ」(部員だけによる大会)がメインですが白熱する試合が展開されます。もちろん部員一同、また、対外試合が出来たら嬉しいと思っています。



部員は経験者ばかりではありません。かくゆう私も、30歳を超えて入部するまで温泉卓球さえやったことがなく、始めた当初はこんなに長く続くとは思っていませんでした。仲間に教わりほとんど我流の卓球スタイルで、毎日練習という名のストレス発散をしています。この活力は日々の仕事にも良い影響を与えていると思います。

講堂という密閉された空間に響き渡る軽快な球の音・・・に混ざり飛び交う雄叫び。相手が新入部員であろうが、上司であろうが手加減する者はいません。

まさに無礼講の真剣勝負です。でも不思議と上達するのです。

毎日集まり少しずつ腕を上げつつ、これからもできる限りこの活動を続けていけたらと思っています。

施設見学の状況

福祉室長 小林 昌美

平成 25 年度の 11 月末までの施設見学団体は 35 団体であり、週 1 回は見学者が来所されていることとなります。施設見学の申し込みは福祉室となっておりますので多くの方々の申し込みをお待ちしております。

月	名 称	人員
4月	静岡県立東部看護学校	80名
5月	静岡医療センター附属看護学校	80名
	静岡地方方法務局施設訪問	2名
	静岡県健康福祉部新規採用職員	27名
	御殿場市原里・大沢地区福祉推進委員会	30名
6月	御殿場市企画部企画課 国家公務員初任行政研修	3名
	埼玉県川口市民 生委員児童委員協議会	25名
7月	不二聖心女子学院 みこころの奉仕	10名
	聖隷クリストファー大学	6名
	マーチンスカイ・広瀬絵里加氏の ギター弾き語り	2名
	御殿場市国立駿河療養所 将来構想検討委員会	15名
	静岡医療科学専門学校	4名
	ミッションスクール聖学院	60名
8月	静岡サレジオ中学・高等学校	11名
	部落解放川崎地区共闘会議	12名
	中部東海身体障害者野球連盟 静岡支部	29名
	福島キッズ 真宗大谷派高山教区	27名
	台湾カトリック大学教授 シルビー・ラグノー	4名
	三重県教育委員会教員	27名
	奈良女子大 盲人会交流	5名
	9月	静岡福祉大学

月	名 称	人員
9月	滋賀県栗東市大宝・大宝東地区 民生委員児童委員協議会	24名
	真宗彼岸法要	10名
	静岡県人権教育推進室	2名
	埼玉大学教育学部	11名
	愛知県地域婦人団体連絡協議会	45名
	静岡県総合教育センター	1名
10月	名古屋医療センター附属 名古屋看護・助産学校	71名
	御殿場市高根地区福祉推進委員会	50名
	曹洞宗東海管区駿河親睦会	15名
	御殿場市新規採用職員	43名
	報恩講 真宗	10名
	浜松市和地地区民生委員児童委員協 議会（カサブランカ）	12名
11月	白寿医療学園	39名
	島田市立看護専門学校	43名
	犬山地区女性の会 ふれあいクラブ	40名
	磐田市人権擁護委員連絡協議会	20名
	県議会議員厚生委員会	10名
	国立ハンセン病資料館学芸員	1名
	日本カトリック信徒宣教会	4名
	ハンセン病問題学生支援団体 チャオ	15名
	津市美里地区民生委員	19名
	神奈川県大和市人権擁護委員会	11名
静岡地方方法務局	5名	
12月	御殿場市立神山幼稚園 年長・年中ふれあい訪問	63名
	合 計	1,028名



8月19日から3泊4日で福島県二本松の7家族20人が放射能の無い綺麗な空気を求めて滞在した。

駿河療養所納涼祭

今年も8月1日に地域の皆さんをお迎えして納涼祭を開催しました。お囃子太鼓、踊り、夜店、夜空に花咲く3000発の打ち上げ花火と盛りだくさんのお祭りとなりました。当納涼祭は、今から67年前、終戦の翌年に入所者の皆さんが手作りのやぐらの周りで盆踊りを踊られたのが始まりです。そして、平成11年から地元の皆さんをお招きして地域との交流も始まりました。打ち上げ花火は平成13年から、入所者の皆さんの名誉と人権が回復されたことをお祝いして打ち上げられるようになりました。(了)



打ち手は職員、
昼休みの練習の成果を
ご披露



2013

駿河の祭りだ!

わっしょい!



応援の裾野阿波踊り連が
盛り上げます。



祭りのクライマックス、
3000発の花火



駿河神社祭

駿河神社は、納骨堂から約700メートル先、駿河療養所の東南端に駿河神社があります。

毎年10月20日前後に斎行される安全祈願のための例祭には、入所者、職員をはじめ御殿場市長、市議会議員、地元代表者、静岡県神社総代会、敬神婦人連合会、駿河療養所退職者など多数の方が参列して、祝詞奏上に始まり献饌、玉串奉奠、神楽奉奏など、古式ゆかしき静粛な式典が執り行われます。



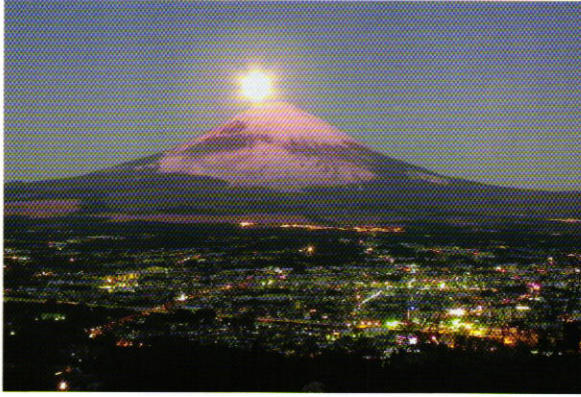
神楽奉奏（笙の演奏による）

入所者の作品（木全 純子）



写真展

昭和34年4月に写真を趣味とする入所者たちにより「光影会」を発足。以後平成15年まで同会により毎年写真展を福祉面会室にて開催してきた。平成16年からは会名を「写真クラブ」に変更するも、同じく写真展を継続し55年間約3000点もの写真を展示してきた。ここ数年は職員の作品も10点程展示するようになり、駿河療養所から望む雄大な富士山や花の写真に入所者・職員・一般の方が食い入るように見つめる光景が毎年続いている。



パール富士



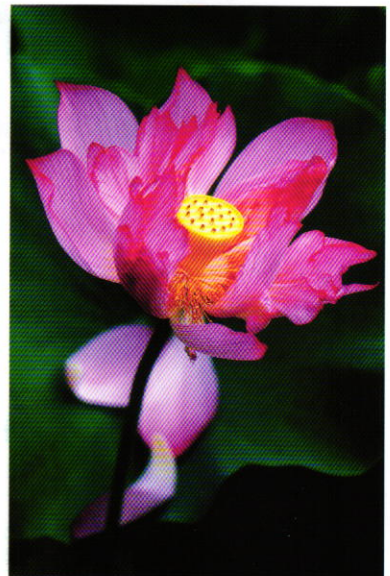
富士山に對面する箱根外輪山からの日の出



「おだまき」 松本 花子



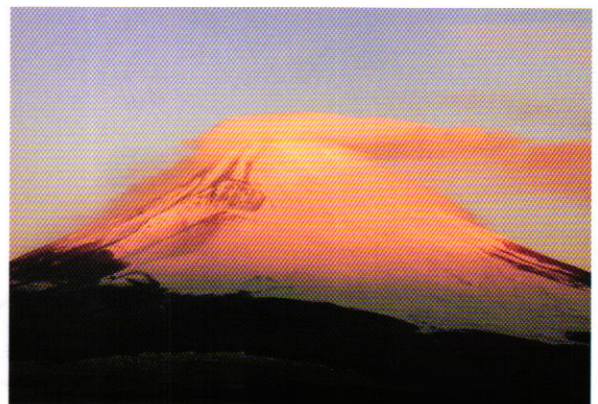
「桜と富士山」 筒井 章一



「ハス」 加藤 健



「茶畑の風景」 加藤 博子



「富士山の荘嚴さ 美しさに 感動
頂上に紅雲が流れています」 杉浦 仁



平成25年12月2日
国立駿河療養所
委託診療事業室
第2号

12月になり、美しく色付いた木々の葉が落葉し始め、冬への移り変わりを感じます。冬に向けて心も体も元気に過ごせるよう、かぜ予防はしっかりと行いましょう。
今回からお便り名を「委託すまいる通信」にさせていただきました。当院では、平均年齢が80歳を超えています。「長生きの秘訣はなんですか？」とお聞きしたところ、「笑うこと」とのこと。そこから、「笑う=すまいる」をお便り名にさせていただきました。笑って生きることは長寿の秘訣なのです。

当所で委託診療利用が多い病院は？

当所では、医師不足に伴い、地域の病院に受診しています。

平成25年4月～10月までの委託受診総件数は、206件で一日平均1.7件となっております。もっとも多くの方が受診した病院は、「のぐちクリニック」27件（消化器科）、次いで「静岡県立がんセンター」26件（内視鏡科）でした。胃腸のトラブルや検査で受診しています。受診の少なかったのは「御殿場市健康診断」で、婦人科検診4件でした。御殿場市では、子宮、乳房検診といった婦人科検診が行われています。今年を終了しましたが、専門医に診ていただくチャンスです。是非来年の受診は受けるようにしてください。

委託診療受診について



地域の病院を受診するには、当所の医師（非常勤医師を含む）が診察をし、検査等の結果、本人・家族に説明し、受診病院を決めます。大学の医学部附属病院、市立病院、県立病院では、「まずは地域にあるクリニックや個人病院を受診してください」と勧められるケースが増えています。これは、現在の医療が地域の病院やクリニックを受診する「地域密着型の医療」の流れに変わってきていることからです。そこで当所では、地域のクリニックや個人病院に受診してから大学医学部附属病院や市立病院、県立病院に受診するケースが多くなりました。

地域の病院紹介

●整形外科・リハビリテーション科「石川整形外科医院」

けがをして、骨や、筋肉、筋などに異常が出た場合、受診しています。当院より車で3分ほどにあり、入口にはスロープ（車椅子が通れる道）があります。車椅子での受診が可能です。リハビリテーション室があり、理学療法士がリハビリテーションを行っています。診察予約が取れるため、予約時間に合わせ、受診が可能となりました。

※委託すまいる通信についてご意見がありましたら、委託診療事業室までお願い致します。

駿河神社は、静岡県敬神婦人連合会が駿河療養所を慰問された際、神社が無いこと、また、患者等が神社を欲していることを知り、これを全国敬神婦人連合会に相談したところ、昭和32年4月20日全国敬神婦人連合会は国立駿河療養所に神社を設立する事を決議した。これにより、静岡県敬神婦人連合会も同様に決議し、両団体を中心となり設立することとなった。

この話を聞いた伊勢神宮は、昭和28年第59回式年遷宮の際の攝社一字（伊勢市宇治館町鎮座 大山祇神社社殿）を下賜せられることを決定した。

昭和32年9月12日、地鎮祭。11月25日、午後3時新殿祭、同5時鎮座祭を斎行し、同年12月15日に竣工した。

本殿は、伊勢神宮から拝受したもので、完全なる神宮攝社が地方に原型のまま建てられたものは全国に類無いことである。

神社名を「駿河神社」としたのは、この地が駿河の國であり、また、ここの療養所の名（駿河療養所）に因んだものである。

御祭神は、あまてらすおおみかみ あさまのおおがみ すくなひこなのかみ天照大神、浅間大神、少彦名神の三柱を奉斎している。

社殿の規模は、下記のとおりである。

本殿 0.697坪（約2.3㎡）、祝詞殿 1.167坪（約3.85㎡）

中殿 4坪（約13.2㎡）、拝殿 12坪（約39.6㎡）


計 17.864坪（約58.95㎡）

総工費は200万円（当時）、この資金は、静岡県敬神婦人連合会が主体となり、全国敬神婦人連合会、静岡県神社庁・同神社総代が後援し集められた。



鳥居は、伊勢神宮と同じ神明鳥居（下の貫が柱を貫通しない形式）





職員募集（看護師・介護員）

入所者の皆さんに関わることで、ケアの原点を見つめ直すことができます。ぜひ、一緒に働きましょう。

お問い合わせは、総看護師長室までお願いします。

発行責任者：青山 南圭

発行所：国立駿河療養所

住所：〒412-8512 静岡県御殿場市神山1915

TEL：0550-87-1711

FAX：0550-87-1921

発行日：平成25年12月